

40周年記念号の発刊に際して

加 納 樹 里

中央大学保健体育研究所は、大学文系4学部が多摩に移転した1978年に設立され、翌79年4月より大学付属の研究機関としての活動を開始しました。

おかげ様で、今年度で40周年の節目を迎えることができました（文末年表参照）。

これも偏に、この40年間の研究所の歩みを支えてくださった諸先輩の先生方、並びに関係各方面の皆様方のご尽力とご支援、ご協力の賜物であると、あらためて深謝申し上げます。

40周年を迎えるにあたっては、昨年、布目前所長の任期中から「40周年の企画委員会」を立ち上げ、研究所「企画委員会」と「国際交流委員会」のメンバーが中心となって、2018年度に当研究所が実施した様々な企画の準備をまいりました。前期中に二度の研究所講演会を開催した他、6月末には中央図書館1階展示ホールおよび2階展示コーナーにて本学ゆかりのオリンピック・パラリンピック選手のパネル・メダル等の展示と、研究所の沿革や研究活動の紹介を行い、延べ400名近い来場者を集めることができました。また、12月には、共にオリンピックで本学卒業生の飯塚翔太さんと、法学部兼任講師の室伏由佳さんをお迎えして、特別公開講演会と記念祝賀会を成功裏に開催することができました。今年度は他にも、通信教育課程を含む複数学部の保健体育基礎教育に使用する教科書の全面改訂に着手し、初めて学部の垣根を超えた共通テキストの執筆に取り組んでまいりました。この執筆に際しましては、長年本学の教育にご協力下さっている兼任講師の先生方にもご協力頂き、OB/OGとして活躍されている著名なスポーツ選手の方々からもコラムへ寄稿して頂きました。

この研究所紀要の創刊は1983年に遡りますが、1992年からは、大きな括りでの部門別の研究体制から、今日のような研究班別の体制に移行しました。その後、度重なる大学教育の見直しや、大学体育の必修化などの影響を受けつつも、各学部に所属する2～3名の保健体育教科、並びに心理学専門の専任教員と、学内外の客員研究員の皆様のご尽力により、今日の13研究班による研究活動を継続し、今日に至っております（文末研究体制一覧参照）。保健体育系列の専門学部を有しない本学の特質上、常に限られたヒューマンリソースで、学部横断的に共同作業

を行うというハンディを持ちながら、40年の歩みを進めてまいりました。

今後は、2020年オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ振興の大きな流れを捉えつつも、最高教育機関の研究所として、授業や学生、学生アスリート支援を含む形での様々な課題に向き合い、変容する日本社会に有用な研究成果を積み上げてゆくことが求められています。

40周年の節目に際しまして、研究員一同、気持ちを新たに致しますと共に、引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2019年1月21日

中央大学保健体育研究所 年表

1978年11月	大学附置の研究所として発足
1979年4月	研究所所長に津久井佐喜男氏（本学文学部教授・保健体育研究所研究員）が就任 1. 健康科学プロジェクト 2. 体力科学プロジェクト 3. 体育科学プロジェクトの3部門で研究活動開始
1981年3月	保健体育研究所事業報告書発行
1982年3月	保健体育研究所事業報告書-2発行
1983年3月	保健体育研究所紀要第1号発行
1984年6月	特別共同研究班「84ナイトハイク研究」実施
1985年6月	特別共同研究班「85ナイトハイク研究」実施
1986年6月	特別共同研究班「86ナイトハイク研究」実施
1987年6月	特別共同研究班「87ナイトハイク研究」実施
1988年4月	研究所所長に石田武氏（本学法学部教授・保健体育研究所研究員）が就任
1988年11月	保健体育研究所「創立10周年記念講演会」開催 「スポーツ科学の果たす役割」 演者：松井秀治氏（スポーツ医・科学研究所所長）
1989年4月	1. 健康科学部門 2. 体力科学部門 3. 体育科学部門 4. 運動科学部門の4部門の研究体制開始
1991年4月	研究所所長に西谷明子氏（本学法学部教授・保健体育研究所研究員）が就任
1992年4月	研究部門体制を研究班体制に切り替え、新たに研究活動を開始
1992年10月	教職員健康・体力測定開始
1994年4月	研究所所長に石部安浩氏（本学法学部教授・保健体育研究所研究員）が就任
1998年11月	保健体育研究所「創立20周年記念シンポジウム」開催 「21世紀のスポーツ—21世紀にスポーツの流れは変わるのか—」 演者：金子勝彦氏（サッカージャーナリスト）、吉村豊氏（本学理工学部教授）、 山口秀夫氏（本学総合政策学部教授）、大日方邦子氏（NHKディレクター）
2000年4月	研究所所長に西谷明子氏（本学法学部教授・保健体育研究所研究員）が就任
2003年4月	研究所所長に石部安浩氏（本学法学部教授・保健体育研究所研究員）が就任
2006年4月	研究所所長に宮本知次氏（本学法学部教授・保健体育研究所研究員）が就任
2008年7月	保健体育研究所「創立30周年記念講演会（Ⅰ）」開催 「オリンピックスポーツ」 演者：吉井妙子氏（スポーツジャーナリスト）
2008年11月	保健体育研究所「創立30周年記念講演会（Ⅱ）」開催 「オリンピックのすべて」 演者：舛本直文氏（首都大学東京教授）

2009年4月	研究所所長に加納樹里氏（本学文学部教授・保健体育研究所研究員）が就任
2010年10月	学術国際会議「第7回日独スポーツ科学会議」開催
2012年4月	研究所所長に影山義光氏（本学法学部教授・保健体育研究所研究員）が就任
2013年10月	研究所所長に布目靖則氏（本学文学部教授・保健体育研究所研究員）が就任
2015年11月	<p>人体科学会第25回大会内の公開企画共催 「公開企画『死と生と』」 特別プログラム「ぼくがいま、死について思うこと」 基調講演：椎名 誠氏（作家） 対談：椎名 誠氏（作家） 目黒考二氏（文芸評論家・作家） シンポジウム「死と生と」 進行：鮎澤 聡氏（筑波技術大学准教授・人体科学会会長） 遠藤卓郎氏（筑波大学名誉教授） パネリスト：鮎澤 聡氏（筑波技術大学准教授・人体科学会会長） 渡邊勝之氏（明治国際医療大学准教授） 高橋和子氏（横浜国立大学教授） 大門正幸氏（中部大学教授） 指定討論者：島藪 進氏（上智大学グリーンフケア研究所所長） 総合司会：宮本知次氏（本学法学部教授・保健体育研究所研究員）</p>
2018年4月	研究所所長に加納樹里氏（本学文学部教授・保健体育研究所研究員）が就任
2018年6月	<p>保健体育研究所「創立40周年記念展示」開催 「オリンピック・パラリンピックと中央大学」 展示期間：2018年6月25日(月)～6月29日(金) 開催場所：多摩キャンパス中央図書館1階展示ホールおよび2階展示コーナー</p>
2018年7月	<p>保健体育研究所「公開シンポジウム」開催 「2020を目指して―日韓レスリングの国際交流」 演者：李 オル氏（韓国・白石大学レスリング部監督） 「2020韓国代表選手養成とナショナルコーチを目指して」 李 正根氏（中央大学レスリング部コーチ） 「2020を目指す中大レスリングの選手養成、現状と課題」</p>
2018年7月	<p>保健体育研究所「創立40周年公開講演会」開催 「スポーツにおける熱中症と実践的暑さ対策」 演者：長谷川 博氏（広島大学大学院総合科学研究科教授）</p>
2018年12月	<p>保健体育研究所「創立40周年記念講演会」開催 「オリンピックとアスリートセカンドキャリアに対する思い」 演者：室伏由佳氏（株式会社 attainment 代表取締役・本学法学部兼任講師） 飯塚翔太氏（ミズノトラッククラブ所属・リオデジャネイロオリンピック銀メダリスト） コーディネーター：村井剛氏（本学法学部准教授・保健体育研究所研究員）</p>

2018年度 研究体制一覧

2019年1月21日現在

	研究班名称	研究員名	客員研究員名・準研究員名
1	学生 の 精神 衛生 研究 班	○都 筑 学 宮 崎 伸 村 井 一 剛	早 川 みどり 飯 村 周 平
2	授 業 研 究 班	○森 正 明 青 木 清 隆 市 場 俊 之 兵 藤 宗 吉 中 谷 康 司 特研	早 川 みどり 北 徹 朗 藤 井 輝 明
3	学 生 の 体 力 研 究 班	○高 村 直 成 青 木 清 隆 中 谷 康 司	川久保 一 浩 谷 川 聡
4	野 外 運 動 研 究 班	○布 目 靖 則 村 井 剛 青 木 清 隆 高 村 直 成	坂 東 克 彦 永 嶋 秀 敏 福 島 邦 男 渡 津 仁 武 田 作 郁 有 元 崇 浩
5	ヒューマンパフォーマンス研究班	○高 橋 雄 介 村 井 剛 森 谷 暢 小 峯 力 遠 藤 伸 太 郎	中 石 純 子 増 田 絃 之 吉 川 仁 憲 星 野 良 介 浦 村 豊 守 野 隨 治 雄 田 春 生 阿 部 太 輔
6	古 武 道 研 究 班	○青 木 清 隆 浦 谷 郁 子 中 谷 康 司	張 勇 谷 川 大 照 沼 秀 世 遠 藤 卓 宮 本 知 次 高 橋 雅 小 林 勝 法 橋 郎
7	ス ポ ー ツ 医 学 研 究 班	○加 納 樹 里 宮 崎 伸 一	尾 崎 宏 樹 山 中 太 郎 佐 藤 智 創 児 野 康 彦 石 原 康 美 山 山 舜 高 田 康 光
8	高 所 ト レ ー ニ ン グ 研 究 班	○森 谷 暢 高 橋 雄 介 中 谷 康 司	加 藤 健 志 今 村 貴 幸 石 川 三 知 立 堀 之内 正 伸 竹 内 早 耶 香 純 徹
9	ス ポ ー ツ 健 康 政 策 研 究 班	○小 林 勉 布 目 靖 則	田 中 暢 子 久 保 田 淳 関 根 正 敏 今 村 貴 幸 小 山 さ な え 岸 河 原 卓 巨 野 口 京 子 増 山 山 舜
10	知的障がい者・精神障がい者スポーツ研究班	○宮 崎 伸 一	大 沢 辰 明 山 口 聖 子 古 斎 藤 利 駿 谷 口 広 明
11	ス ポ ー ツ 認 知 ・ 心 理 研 究 班	○村 井 剛 高 村 直 成	辻 内 智 樹 豊 田 裕 浩 永 嶋 秀 敏 伴 元 裕 裕 中 谷 康 司
12	2020オリンピック・パラリンピック研究班	○森 正 明 村 井 剛 小 峯 力	北 齋 藤 徹 朗 田 中 暢 子 藤 利 之
13	シ ス テ ム 生 理 学 研 究 班	○中 谷 康 司	赤 羽 悟 美

○印：主査

注：太字は準研究員（大学院RA）

